

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	山鳩第二保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

平成 28 年 2 月 23 日

総 評	<p>山鳩第二保育園は、平成 21 年に開園した保育園ですが、地域との交流に積極的に取り組んでいます。地域ボランティアの方々による四季折々の野菜の栽培・収穫を始め、七夕の笹やカブトムシのプレゼント、夏祭りや敬老会など園の様々な行事に地域の方が関わっています。また、広報誌などを用いて園からの情報発信も積極的に行っており、地域に根差した運営を行っています。運営母体である社会福祉法人若竹福祉会は、昭和 52 年に設立され、他に 3 つの保育園を運営しており、そこで培われた資源も有効に活用しています。</p> <p>保育方針の「雑草のようにたくましく、野辺に咲く可憐な花のように 優しく 愛らしい子に育てる」を大切にしており、保育の理念と共にその内容を園内外に発信しています。職員が保育方針を理解し、日々の保育を実践できるようマニュアルや会議・研修などの環境を整備しています。</p> <p>管理者を中心に、園全体で一人ひとりの子どもを育み見守るという姿勢が日々の朝礼や保育の様子から感じられます。子どもたちがしっかりと育ってくれるよう指導すると共に、自ら遊びたい・学びたいという気持ちを大事にした保育を行っており、自主的に物事に取り組む子どもたちの姿があります。</p> <p>職員の完全週休2日制の実施に努めており職員間のコミュニケーションの充実と共に、保育の場が安心な環境となるよう努めています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> 管理者は、毎日の朝礼、月 1 回の全体職員会議、クラスミーティング、主担会議、調理会議、行事・食育・人材などのグループ会議に出席し、方針に沿った保育が実践されるよう取り組んでいます。 自治連合会長と定期的に情報交換を行い、地域のボランティアグループの方が園庭内に野菜の栽培活動を行ったり、様々な園行事へ参加しています。また、園児は小学校で開催される敬老のつどいに和太鼓演奏に出向いたり、小学校のプールに遊びに行ったり給食を食べに行ったりしています。そして、隣接する小学校の先生が出前授業として保育園で国語や算数を教えてくれるなど、地域との良好な関係づくりに取り組んでいます。 ヒヤリハットの欄を保育日誌内に設けています。必ず一つ出来事を記述することで毎日ヒヤリハットがあるはずという意識を高めるよう促し、事故防止に努めています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> 園児の転園の際に、文書等での引き継ぎ内容を手順として定められるとより良いでしょう。 延長保育での軽食の提供は園の方針として実施していません。第三者評価の基準としては、「長時間保育を受ける子どもに軽食の提供」があり、帰宅後の夕食に差し支えない程度の軽食の提供を行うとなお良いでしょう。

※それぞれ内容を 3 点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	山鳩第二保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会
訪問調査日	2016年2月23日（火）

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
		② 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている。	A	A
	③ 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A	
	④ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A	
	⑤ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A	
	⑥ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	A	A	
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

- ・月1回の全体職員会議の際には全員で基本理念、保育方針、年齢別保育目標を唱和し、職員への周知に努めています。また、各保育室、玄関などに理念・保育課程・年齢別保育目標等を掲示し職員及び保護者に対して、その周知に努めています。
- ・法人内の4ヶ園合同の研修会で話し合い、保育課程の基本となる部分の編成と、法人共通の年間指導計画を作成しています。それらに基づいて、担任を中心に月間指導計画を作成しています。その評価・反省は管理者と共に毎月実施しており、翌月の指導計画に反映させています。
- ・管理者は、毎日の朝礼、月1回の全体職員会議、クラスミーティング、主担会議、調理会議、行事・食育・人材などのグループ会議に出席し、方針に沿った保育が実践されるよう取り組んでいます。また、全体職員会議録を作成しパート職員も内容を確認しています。法人合同研修も年3回実施しています。就業規則の内容は、法人合同研修で読み合わせを行い、職員が内容を把握出来るよう取り組んでいます。
- ・職務分担表をもとに、役割の明確化と職員間の協力体制がスムーズに行えるよう取り組んでいます。職員の書類作成の時間確保などのため、必要な時間のみ勤務してもらえる人材の確保や、倉庫内の整理や在庫管理、動線など業務の効率化への取り組みを工夫し、その対応が職員間で共有されています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
		② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A
		③ 定期的な個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
		③ 定期的な個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A
④ 必要に応じて個別の教育・研修計画の策定・見直しを行っている。		A	A	
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A	
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	B	A	
	③ 実習生の受け入れに関する基本姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A	
	④ 必要に応じて実習生の受け入れに関する基本姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A	
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	A
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A
【自由記述欄】				
<p>・職員として心がけてほしい内容をまとめた指標を全職員に配布し、求める人材像や保育の内容などについて記されています。有給休暇の取得向上を目指し、取得一覧表を掲示し、取得しやすい雰囲気づくりを心掛けたり、祝日も含めて完全週休二日制の実施に努めています。</p> <p>・職員の教育・研修に関する基本方針が明文化されています。研修報告書を作成し、全職員が閲覧出来るようにしています。また、全体職員会議で研修内容の実践発表にも取り組んでいます。個別の研修計画を作成し、各職員の職責やキャリアに応じてねらい・目的・内容を定めています。</p> <p>・実習生受け入れマニュアルやボランティア受け入れマニュアルがあり、そのマニュアルに基づいて事前に注意事項等を喚起し、基本姿勢を明確にしています。自治連合会長と定期的に情報交換を行い、地域のボランティアグループの方が園庭内に野菜の栽培活動を行ってくれたり、様々な園行事へ参加しています。また、地域の保小接続活動(正式名称)として小学校で開催される敬老のつどいに和太鼓演奏に出向いたり、小学校のプールに遊びに行ったり給食を食べに行ったりしています。そして、隣接する小学校の先生に出前授業として保育園で国語や算数を教えてもらうなど、地域との良好な関係づくりに取り組んでいます。</p> <p>・「子育て広場」と称して自主事業で未就園児を対象とした子育て支援事業を行い、月2回の園庭開放、親子クッキング、リズム体操などに取り組んでいます。それらの内容は、行政の広報誌に掲載し、地域の子育て家庭へ発信しています。</p>				

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。 ② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A A	A A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	B	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている ② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。 ③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A A A	A A A
Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
		② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A	A
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	B

[自由記述欄]

・個人情報保護に関する規程や、苦情解決の仕組みが整備されており、入園のしおりを園内に掲示すると共に、意見箱を園内3ヶ所に設置しています。苦情や要望の内容と対応方法が記録されています。園全体にかかわるような内容については、保護者へ対応内容を配布・掲示するなどフィードバックに努めています。個人情報に関する書類等については、職員室から持ち出しを禁止し、朝礼でも取り扱い注意の呼びかけを確認しています。

・第三者評価受診は初めてですが、法人内の他の保育園で受診した評価内容を共有し、運営内容の改善に活かしています。自己評価チェックリストの冊子を全職員に配布し、年3回(5月、8月、12月)実施し、自身の保育を管理者と共に振り返り、保育の質向上に努めています。

・毎朝の朝礼や、適宜開催の乳幼児会議、毎月開催する主担会議などでケース会議を実施し、会議録の作成を含め必要な情報が職員間で共有されるよう努めています。職員室のホワイトボードや記録ノートに日々の伝達事項を記録し、延長保育担当の職員にも引き継がれるよう配慮しています。

・園児の転園の際に、転園先から要望があれば保育要録を引き継ぎ資料として提出するよう考えていますが、今後は引き継ぎ内容を文書等によって手順として定められるとより良いでしょう。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	B
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

【自由記述欄】

・職員にマニュアルブックを配布しており、登園時や保育中の健康管理、健康観察、感染症発生時の対応などの手順を標準化しています。感染症発生時には、病名と人数を掲示し保護者に対して発信を行っています。全園児を対象として、年2回の内科健診、歯科健診、耳鼻科健診、眼科健診を実施しており、園医とその都度カンファレンスを実施し、情報交換を行っています。

・園庭で野菜を育てており、栽培から収穫までを体験しています。その食材を活かして乳児からクッキングを行ったり、毎日の食材の展示や毎週の食べ物クイズなど食事に興味を持てるよう工夫しています。おやつは手作りを中心に提供しています。保護者に対して給食試食会や親子クッキングを開催し、栄養士による食についての話も行っています。アレルギー児に対しては代替食を提供しています。

・保育の内容は、言葉と動きとリズムを中心に、毎朝の体育あそびや言葉の発声、数字あそび、絵本朗読など発達に応じたカリキュラムを園全体で展開しています。また、クラブ活動としてメロディグループ、和太鼓、木琴など好きな楽器あそびが出来る時間を昼から週3日設けています。絵本コーナーやままごとコーナーなども設けており、決まったカリキュラムに沿った内容と、自由に主体的に遊べる環境の両面に配慮しています。月1回3～5歳児は、アメリカ人による英会話教室があります。3歳児からはぞうりを履いて過ごしたり、薄着保育を心がけています。1歳児以上は、年間を通して乾布摩擦を行っています。

・当番活動に2歳児から取り組んでいます。給食やおやつの配膳・人数報告・園内のゴミ集め・掃除などの活動を子どもが自主的に取り組めるよう、年齢に応じた環境作りや関わりに工夫しています。

・乳児保育の語りかけは丁寧で、温かい雰囲気づくりに努めています。延長保育は延長ノートなどにより引き継ぎを行い実施していますが、軽食の提供は行っていません。第三者評価の基準としては、「長時間保育を受ける子どもに軽食の提供」があり、帰宅後の夕食に差し支えない程度の軽食の提供を、今後の検討材料のひとつとして考慮されても良いかと思えます。

・障害児については、定期的に専門機関と連携を図り、子どもの特性に応じた個別計画を作成し保育を実施しています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	B	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

[自由記述欄]

・年に2回、個人懇談を実施し、それらの内容は記録されています。

・保育参観・親子クッキング・運動会・発表会など、保護者との共通理解を得るための機会を設けています。また、各取り組みの後には保護者から感想アンケートを取り、それを受けて行事の取り組み方や時間を再考するなど、保護者の意向を取り込む努力をしています。

・子どもの発達記録やケア記録、保育要録、児童原簿、園児家庭連絡表など保育に必要な記録が整備され、保育内容に活かされています。法人で共通の記録管理規程があり、定期的な見直しの実施や廃棄などが定められています。

・一時保育の為に保育室を確保し、家庭的な雰囲気保育をしています。通常保育の子どもと一緒に食事をするなど、生活においても自然な交流を行っています。

・地域の子育て支援事業を実施しています。実施状況を踏まえながら、参加者の方が更に楽しく参加できるようにとクッキングや園の誕生会への参加など新たな取り組み方を検討しています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

[自由記述欄]

・衛生管理マニュアルに沿って、調理場の衛生管理の確認作業を実施しています。

・手洗い石鹸は、泡状・液体・固形の3種を用意し、子どもの活動や用途に合わせて使い分けをしています。

・ヒヤリハットの欄を保育日誌内に設けています。必ず一つ出来事を記述することで毎日ヒヤリハットがあるはずという意識を高めるよう促し、事故防止に努めています。

・年4回防犯訓練を行っています。不審者対応の訓練に警察の方に来てもらい、職員向けと園児の対応とそれぞれの訓練を行ったり、施設環境を回っていただきながら適切なアドバイスを受けたりしています。

・事故や災害が発生した時に対応できるマニュアルが整備され、それに基づく職員研修が年1回行われています。

・災害時に、保護者に一斉にメール発信出来るようにしています。